

BUNBUN Funabashi.

2020
4月
～
5月

第7号

無料

令和2年3月31日発行
発行 船橋市文化振興推進協議会
TEL 047-436-2894

ぶ ん ぶ ん

ふ な ば し

新型コロナウイルス感染症
拡大防止対策のため、
掲載されているイベントが
中止・延期になる場合
があります。

そこは、
SL があるところ

市教育委員会と文化施設のイベント情報を
ひとつにまとめた WEB 版フリーペーパー！

大人も子供も楽しめるイベントが盛りだくさん。

市民文化ホール／市民文化創造館(きららホール)／郷土資料館／飛ノ台史跡公園博物館
市民ギャラリー・茶華道センター／アンデルセン公園子ども美術館 ほか

R70

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



WEB 版

6つの施設と文化課が毎号交替でイチオシ情報をお届けします。第7号（4,5月号）の担当は郷土資料館です。詳しくは4ページへGO！

Pick Up! インタビュー 清水邦彦さん・吉野隆文さん

郷土資料館 SL 解説・整備ボランティア

郷土資料館の屋外に展示されている人気者、SL「D51 125 号機」。 SL 解説・整備ボランティアのお二人に、見どころを教えてくださいました！

★いつも、運転席公開日の解説と、SL の整備をしていただき、ありがとうございます。

お二人は、郷土資料館の SL 解説・整備ボランティアとしての活動は、いつからなさっているのですか？

清水：サラリーマン生活を終えた 61 歳の時、今から約 14 年前です。

鉄道に関係したことをやりたいなと思っていた時に、D51 125 に出会い、資料館の事務室に申し出ました。

吉野：10 年近く前になりますが、ライブスチーム（ミニ SL）の製作の参考に、郷土資料館に来たのがきっかけです。

その時に清水さんとお会いし、当時の館長さんとお話しするなかで、自然と、ボランティアをさせてもらうことになりました。

夏休みの自由研究で、蒸気機関車の走る仕組みを調べました。

★郷土資料館の SL は、保存状態が良いと言われます。

暑い時も寒い時も整備をしてくださっているお二人には、本当に頭が下がります。

ところで、お二人は、いつ頃から、SL や鉄道に関心を持ったのですか？

清水：小学生の頃からです。

飛行機と鉄道が好きで、数年おきに、飛行機に集中したり、鉄道にこったりしていました。

小学校の夏休みの自由研究で、蒸気機関車の走る仕組みを調べたこともありました。機関区の見学もしました。

リタイア後は鉄道に集中し、2 年間鉄道工学講座を受講しました。

電気機関車の体験運転は、15 年続けています。

吉野：記憶のある限り鉄道好きなので、いつからかは記憶がありません（笑）。

鉄道趣味に関しては、写真、模型（16 番ゲージ～ミニ SL）もです。

ミニ SL でのボランティアでも、昨年 11 月に市政功労賞を頂きました。



運転席の説明をする清水さん



燃料（石炭）の説明をする吉野さん

Q. 見どころは？ A. 運転席（清水） ボランティアの説明を聞けるところ（吉野）

★なるほど。お二人とも、本当にお詳しいですし、説明がわかりやすいと感じます。

お二人は、郷土資料館の屋外で展示されている SL「D51 125 号機」の見どころは、どんなところだと思いですか？

清水：運転席だと思います。

静態保存車で運転席が維持されている車両は、それ程多くはなく、公開日には直接見られるのも、見どころだと思います。

吉野：手前味噌ですが、ボランティアの説明を聞けるところだと思います。

蒸気機関車は、皆さん何となくイメージできるのですが、実際には、今の電車とは機構が大きく異なる車両です。

説明と質問を繰り返しながら、実物の魅力に触れられるところが、「見どころ」ではないでしょうか。

★たしかに、SL って奥が深いですね。

SL 見学に来た市民とのやり取りなど、思い出に残っている出来事を教えてくださいませんか？

清水：熱心に繰り返し見学に来られた方が、数名いらっしゃいます。

お母様に付き添われた小学生の女子、大学生、社会人、年配の方…。

蒸気機関車に関心をお持ちの方が多く、驚きもありました。

回を重ねる毎に、難しい、込み入った話になっていきました。

吉野：自分の子どもの頃、総武線の貨物列車は、D51 が牽引していました。

その時の記憶を共有できる方とのやり取りは、印象深いものがあります。

★熱心に質問している方も、多いですね。

最後に、『BUNBUN Funabashi.』を見ている市民へのメッセージをお願いします。

清水：蒸気機関車に限らず、毎日利用される電車のお話面白いです。

日常で、「なんでだろう？」と思われる鉄道の疑問がありましたら、どうぞ見学にいらして下さい。お待ちしております。

吉野：蒸気機関車が実用化されて約 200 年。

その間に様々な改良と工夫を重ねた英知の結晶でもあり、たくさんの「へえ」をご用意しています。

「きかんしゃトーマス」のヒロでもありますので、是非見に来て下さい。

いつかは、「D51 125 号機」の前に線路を敷いて、ミニ SL を走らせたいと思っています。

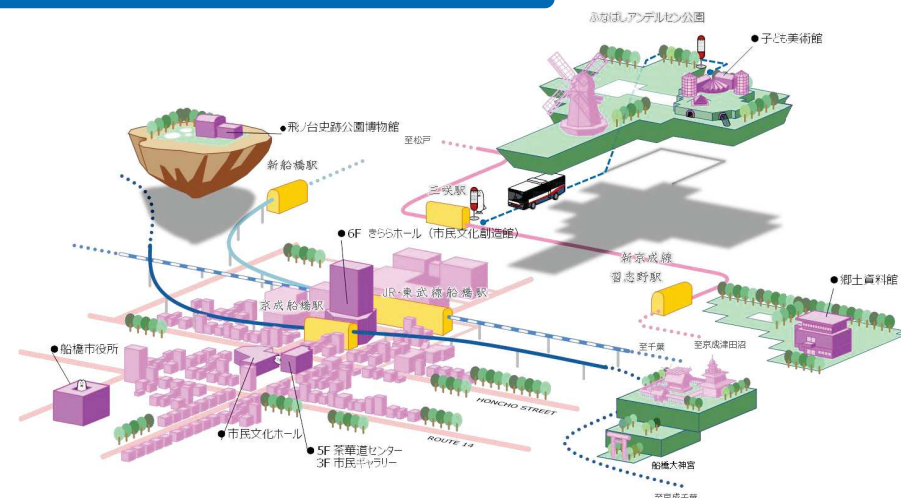
★興味深いお話を、ありがとうございました。これからも、よろしくお願いします。

※ 運転席の公開は、土・日・祝日の午前 10 時～午後 4 時。雨天の場合は公開中止。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 2 年 4 月 12 日（日）まで SL 運転席の公開を中止します（3 月 31 日現在）。

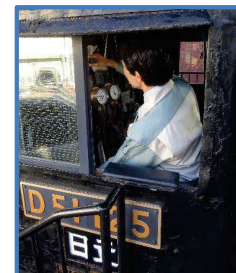
※ 4 月 18 日（土）以降の公開日時は、郷土資料館ホームページでご確認ください。

Funabashi Bun² Map



「“BUNBUN”ってどんな意味？」

ブンブンと飛び回って蜜を集めるミツバチの様に、船橋の文化施設を巡り
“楽しい”を身近に感じてもらうという思いを込めて名付けました。



運転席に興味津々なインタビュー